

## 特別企画 : TDB 圏域別景気 DI (2020 年 8 月)

# 製造業界の復調が、一部地域で景況感を押し上げ ～ 全国 130 圏域別にみると、景況感に温度差も ～

## はじめに

国内景気の実態把握を目的として、2002 年 5 月から調査を開始した TDB 景気動向調査。現在、日本全体、全国 10 地域、47 都道府県などに関して景気 DI などの指標を公表している。帝国データバンクでは、企業が実感する地域の景況感により近づけるため、地域の経済的なつながりや交通網などを考慮し全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割して、圏域別景気 DI を算出している。

本稿では、全国 130 圏域の景気 DI について、TDB 景気動向調査 2020 年 8 月調査をもとに結果をとりまとめた。

※なお、130 圏域は、各種圏域に関する資料を参考に帝国データバンクにて加工・設定。地図データは、国土地理院発行の数値地図（国土基本情報）と ESRI ジャパンの全国市区町村界データを使用し加工した

※調査期間は 2020 年 8 月 18 日～31 日、調査対象は全国 2 万 3,689 社で、有効回答企業数は 1 万 2,000 社（回答率 50.7%）

## 調査結果（要旨）

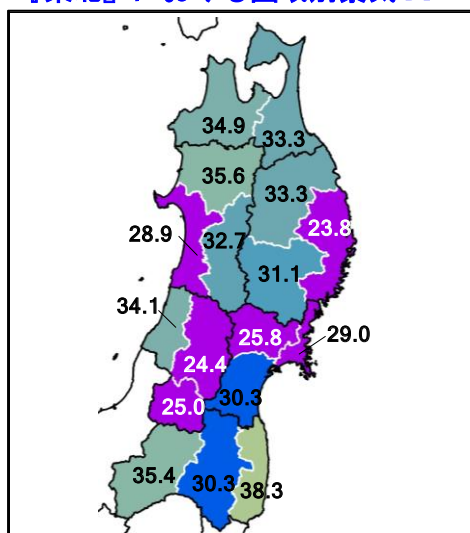
- 2020 年 8 月の景気 DI を圏域別にみると、前月から 130 圏域のうち 86 圏域で改善となった。圏域別の順位は、広島県三次市などの「備北」が 45.8 でトップ。以下、高知県南国市などの「高知東部」（42.9）、大分県別府市などの「大分東部・北部」（41.7）が 40 台で続き、北海道帯広市などの「十勝」（38.4）、福島県いわき市などの「浜通り」（38.3）が上位に並んだ
- 特に、広島県三次市などの「備北」（45.8）では、輸送用機械・器具製造や建材・家具、窯業・土石製品製造などの製造業界が牽引し、前月より 15.2 ポイントの改善がみられた。また、高知県南国市などの「高知東部」（42.9）や福島県いわき市などの「浜通り」（38.3）などでは、厳しいながらも公共事業や災害復旧工事など建設業界を中心に景況感を押し上げた
- 他方、『東海』では、景況感の改善がみられるものの、愛知県豊橋市などの「東三河」や三重県津市などの「三重北中部」（ともに 31.1）以外の圏域では 30 を下回っており、依然として厳しい様子がうかがえた
- 自動車関連をはじめとする製造業界の生産活動の復調を要因として一部圏域で改善がみられ、災害復旧関連の工事など公共事業が牽引している地域で、景況感を押し上げた。新型コロナウイルスにより厳しい環境下であるが、全国 130 圏域でみると、景況感に温度差が表れている

## 1. 自動車関連をはじめ製造業界が一部地域で景況感を牽引

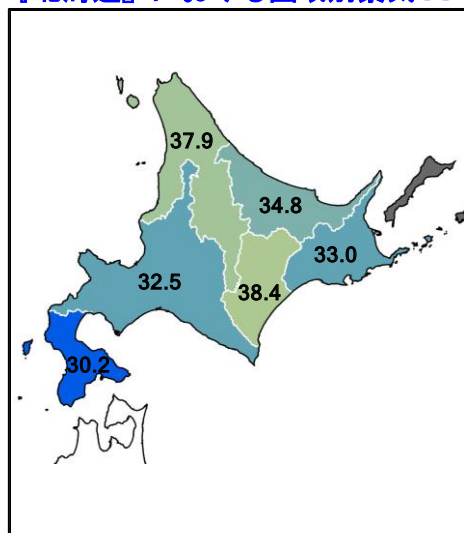
2020年8月の景気DIを圏域別にみると、製造業界が牽引していた広島県三次市などの「備北」で45.8となりトップとなった。企業からも「前年より悪いが業界は忙しくなった」（輸送用機械・器具製造、広島・備北）という明るい声が聞かれた自動車関連のほか、木材加工などの製造も好調であったことがプラス要因になったとみられる。自動車部品を製造する工場が数多く集積する大分県別府市などの「大分東部・北部」（41.7）でも、製造業界が景況感を押し上げていた。他方、自動車関連の工場が集積する愛知県豊田市などの「西三河」（27.6）では、製造業界の復調がみられるものの、依然として景況感は低水準が続いている。

高知県南国市などの「高知東部」（42.9）や福島県いわき市などの「浜通り」（38.3）などでは、厳しいながらも公共事業や災害復旧工事など建設業界が景況感を押し上げた。

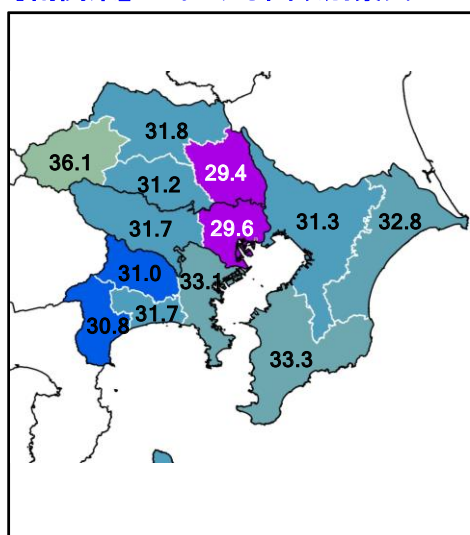
『東北』における圏域別景気DI



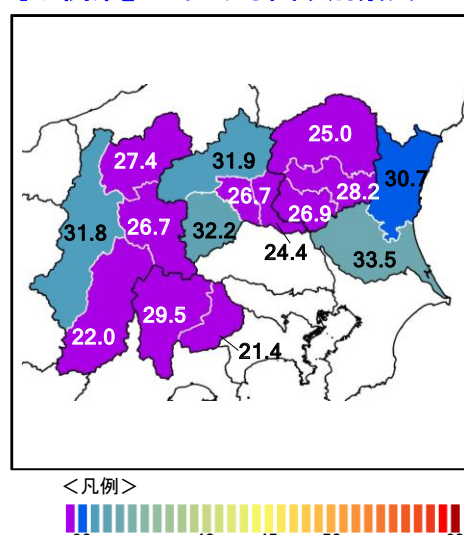
『北海道』における圏域別景気DI



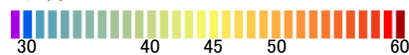
『南関東』における圏域別景気DI



『北関東』における圏域別景気DI

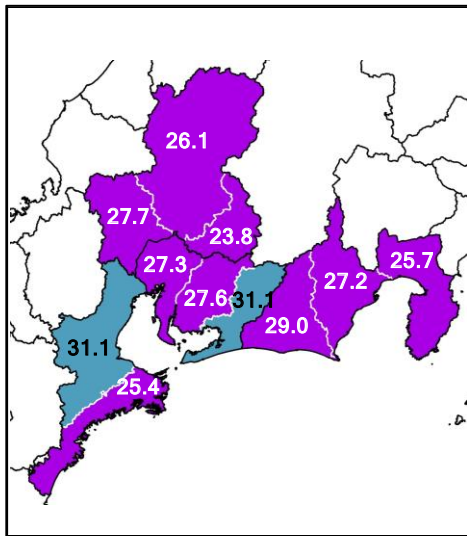


<凡例>

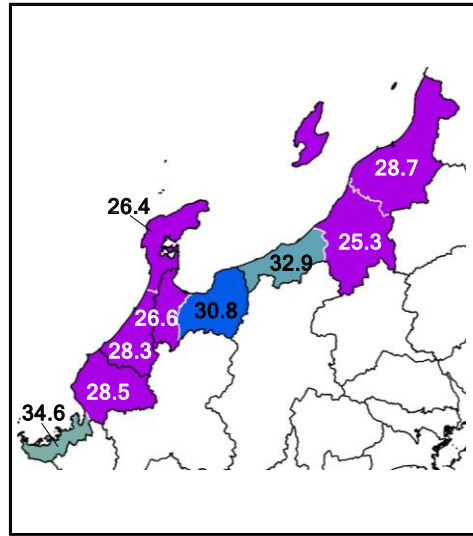


地図データ：(c)Esri Japan

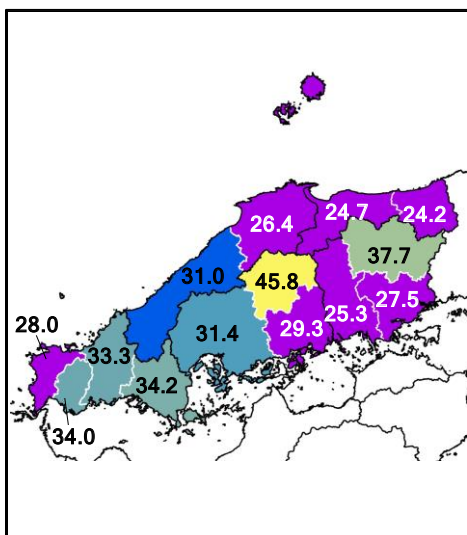
『東海』における圏域別景気 DI



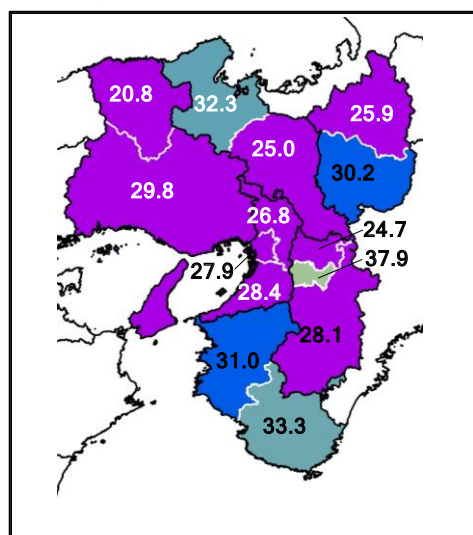
『北陸』における圏域別景気 DI



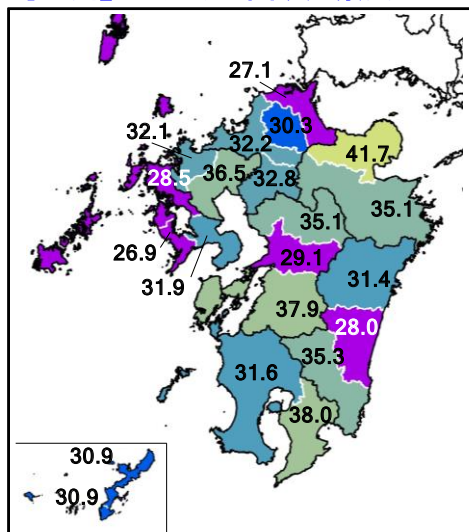
『中国』における圏域別景気 DI



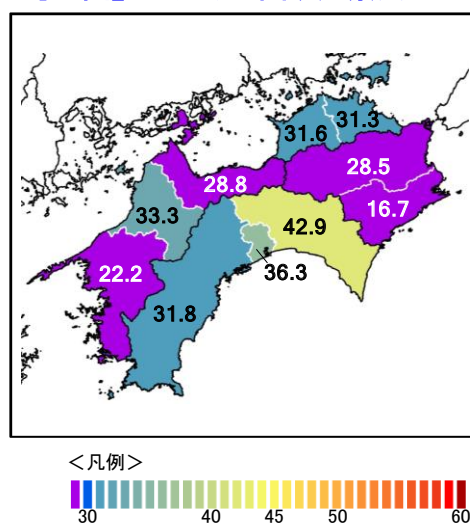
『近畿』における圏域別景気 DI



『九州』における圏域別景気 DI



『四国』における圏域別景気 DI



<凡例>



地図データ：(c)Esri Japan

## 2. 各圏域の8月の景気DIと前月比

## 『北海道』における圏域別景気DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
北海道	道央	札幌・苫小牧	32.5	0.7
	道北	旭川・稚内	37.9	-1.6
	道南	函館・北斗	30.2	1.0
	オホーツク	北見・網走	34.8	-0.5
	十勝	帯広	38.4	4.0
	釧路	釧路・根室	33.0	4.1

## 『南関東』における圏域別景気DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
埼玉県	埼玉南部	さいたま・川口	29.4	1.6
	埼玉南西部	川越・所沢	31.2	4.4
	埼玉北部	熊谷・久喜	31.8	1.3
	秩父	秩父	36.1	4.0
千葉県	千葉西北部	千葉・船橋	31.3	0.7
	千葉北東部	銚子・茂原	32.8	0.3
	千葉南部	木更津・館山	33.3	1.9
東京都	区部	23区	29.6	0.2
	多摩・島嶼	八王子・町田	31.7	1.1
神奈川県	川崎・横浜・三浦	横浜・横須賀	33.1	1.4
	県央	相模原・厚木	31.0	0.7
	湘南	藤沢・平塚	31.7	6.1
	県西	小田原・南足柄	30.8	7.2

## 『東北』における圏域別景気DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
青森県	津軽	青森・弘前	34.9	-1.1
	下北・三八上北	八戸・十和田	33.3	2.6
岩手県	岩手県央	盛岡・久慈	33.3	1.6
	岩手県南	花巻・一関	31.1	-0.7
	岩手沿岸	宮古・大船渡	23.8	-0.6
秋田県	秋田県北	能代・大館	35.6	3.5
	秋田県央	秋田・由利本荘	28.9	0.5
	秋田県南	横手・湯沢	32.7	0.0
宮城県	仙台・仙南	仙台・名取	30.3	0.6
	石巻・気仙沼	石巻・気仙沼	29.0	-0.6
	大崎・栗原・登米	大崎・栗原	25.8	1.2
	山形県	村山・最上	山形・天童	24.4
山形県	置賜	米沢・南陽	25.0	1.2
	庄内	酒田・鶴岡	34.1	0.8
	福島県	中通り	福島・郡山	30.3
浜通り		いわき・南相馬	38.3	1.1
会津		会津若松・喜多方	35.4	0.0

## 『北陸』における圏域別景気DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
新潟県	下越・佐渡	新潟・三条	28.7	0.9
	中越	長岡・柏崎	25.3	0.1
	上越	上越・糸魚川	32.9	0.1
富山県	富山	富山・魚津	30.8	-1.0
	高岡	高岡・射水	26.6	2.0
石川県	加賀	金沢・小松	28.3	-0.1
	能登	七尾・輪島	26.4	-3.9
福井県	嶺北	福井・越前	28.5	5.2
	嶺南	敦賀・小浜	34.6	1.3

## 『北関東』における圏域別景気DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
茨城県	茨城北部	水戸・日立	30.7	-1.4
	茨城南部	土浦・つくば	33.5	1.9
栃木県	栃木県央	宇都宮・鹿沼	28.2	1.6
	栃木県北	那須塩原・日光	25.0	1.3
	栃木県南	足利・小山	26.9	0.8
	群馬県	群馬中部	前橋・伊勢崎	26.7
群馬県	群馬東部	太田・桐生	24.4	1.8
	群馬西部	高崎・藤岡	32.2	2.5
	吾妻・利根沼田	沼田	31.9	-1.4
山梨県	山梨中・西部	甲府・笛吹	29.5	2.5
	東部・富士五湖	富士吉田・都留	21.4	2.5
長野県	長野・北信	長野・飯山	27.4	-0.3
	松本・木曾・大北	松本・安曇野	31.8	2.3
	佐久・上小	上田・佐久	26.7	0.5
	諏訪・上伊那・飯伊	飯田・諏訪	22.0	-0.2

## 『東海』における圏域別景気DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
静岡県	静岡中部	静岡・藤枝	27.2	0.2
	伊豆・東部	沼津・富士	25.7	0.1
	静岡西部	浜松・磐田	29.0	1.8
愛知県	尾張	名古屋・春日井	27.3	-0.3
	西三河	豊田・岡崎	27.6	2.4
	東三河	豊橋・豊川	31.1	2.6
岐阜県	岐阜・西濃	岐阜・大垣	27.7	-1.1
	中濃・飛騨	可児・高山	26.1	2.4
	東濃	多治見・中津川	23.8	1.3
三重県	三重北中部	津・四日市	31.1	3.4
	三重南部	伊勢・志摩	25.4	0.8

※網掛けは、景気DI上位5圏域

## 『近畿』における圏域別景気 DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
滋賀県	滋賀南部	大津・東近江	30.2	-0.1
	滋賀北部	彦根・長浜	25.9	2.2
京都府	京都南部	京都・宇治	25.0	-1.1
	京都北部	福知山・舞鶴	32.3	7.9
大阪府	大阪市	大阪	27.9	-0.2
	大阪南部	堺・岸和田	28.4	2.6
	大阪北東部	東大阪・枚方	26.8	0.1
兵庫県	県南部・淡路島	神戸・姫路	29.8	0.8
	兵庫北部	豊岡・朝来	20.8	2.6
奈良県	奈良北和	奈良・生駒	24.7	-5.1
	奈良中和	橿原・香芝	37.9	3.5
	奈良東南和	五條・宇陀	28.1	-2.1
和歌山県	和歌山北部	和歌山・有田	31.0	1.1
	和歌山南部	田辺・新宮	33.3	0.0

## 『中国』における圏域別景気 DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
鳥取県	鳥取東部	鳥取	24.2	-0.8
	鳥取中・西部	米子・倉吉	24.7	-0.3
島根県	出雲・隠岐	松江・出雲	26.4	-2.8
	石見	浜田・益田	31.0	4.6
岡山県	備前	岡山・玉野	27.5	0.0
	備中	倉敷・総社	25.3	0.5
	美作	津山・真庭	37.7	0.6
広島県	広島	広島・呉	31.4	0.4
	備後	福山・尾道	29.3	-0.2
	備北	三次・庄原	45.8	15.2
山口県	岩国・柳井・周南	岩国・周南	34.2	1.3
	山口・防府	山口・防府	33.3	3.1
	宇部・美祢	宇部・山陽小野田	34.0	-0.5
	下関	下関・長門	28.0	0.9

※網掛けは、景気 DI 上位 5 圏域

## 『四国』における圏域別景気 DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
香川県	東讃	高松・さぬき	31.3	1.5
	西讃	丸亀・三豊	31.6	1.7
徳島県	徳島東部・西部	徳島・鳴門	28.5	0.7
	徳島南部	阿南	16.7	-4.1
愛媛県	中予	松山・伊予	33.3	-1.1
	東予	今治・新居浜	28.8	-1.2
	南予	宇和島・大洲	22.2	4.1
高知県	高知市	高知	36.3	3.8
	高知東部	南国・室戸	42.9	-2.0
	高知西部	土佐・四万十	31.8	4.5

## 『九州』における圏域別景気 DI・前月比

都道府県	圏域名称	主な都市	'20.8	前月比
福岡県	福岡	福岡・筑紫野	32.2	-0.4
	北九州	北九州・行橋	27.1	0.2
	筑豊	直方・飯塚	30.3	-5.6
	筑後	久留米・大牟田	32.8	1.0
佐賀県	佐賀南部	佐賀・鳥栖	36.5	-1.8
	佐賀北部	唐津・伊万里	32.1	2.5
長崎県	長崎	長崎	26.9	-4.2
	県央・島原	諫早・大村	31.9	1.6
	県北・離島	佐世保・五島	28.5	1.4
大分県	大分中部・南部・西部	大分・佐伯	35.1	1.5
	大分東部・北部	別府・中津	41.7	7.5
熊本県	熊本中央	熊本・宇城	29.1	-4.2
	熊本県北	玉名・合志	35.1	3.6
	県南・天草	八代・天草	37.9	3.0
宮崎県	宮崎東諸県	宮崎・西都	28.0	-1.5
	宮崎県北部	延岡・日向	31.4	-2.9
	都城北諸県	都城・日南	35.3	-4.7
鹿児島県	薩摩	鹿児島・霧島	31.6	0.2
	大隈・奄美・熊毛	鹿屋・奄美	38.0	2.8
沖縄県	県南部・宮古・八重山	那覇・宮古島	30.9	-5.1
	沖縄中部・北部	沖縄・うるま	30.9	-2.4

## 調査先企業の属性

## 1. 調査対象(2万3,689社、有効回答企業1万2,000社、回答率50.7%)

## (1) 地域

北海道	581	東海(岐阜 静岡 愛知 三重)	1,372
東北(青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島)	824	近畿(滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山)	1,990
北関東(茨城 栃木 群馬 山梨 長野)	907	中国(鳥取 島根 岡山 広島 山口)	690
南関東(埼玉 千葉 東京 神奈川)	3,706	四国(徳島 香川 愛媛 高知)	357
北陸(新潟 富山 石川 福井)	664	九州(福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄)	909
合計			12,000

## (2) 業界(10業界51業種)

農・林・水産	64	飲食料品小売業	74	
金融	134	繊維・繊維製品・服飾品小売業	32	
建設	1,950	医薬品・日用雑貨品小売業	24	
不動産	378	家具類小売業	15	
製造 (3,322)	飲食料品・飼料製造業	391	家電・情報機器小売業	41
	繊維・繊維製品・服飾品製造業	125	自動車・同部品小売業	92
	建材・家具・窯業・土石製品製造業	259	専門商品小売業	153
	パルプ・紙・紙加工品製造業	112	各種商品小売業	47
	出版・印刷	199	その他の小売業	9
	化学品製造業	463	運輸・倉庫	533
	鉄鋼・非鉄・鉱業	567	飲食店	63
	機械製造業	539	電気通信業	9
	電気機械製造業	370	電気・ガス・水道・熱供給業	20
	輸送用機械・器具製造業	120	リース・賃貸業	129
精密機械・医療機械・器具製造業	84	旅館・ホテル	36	
その他製造業	93	娯楽サービス	64	
卸売 (3,159)	飲食料品卸売業	418	放送業	14
	繊維・繊維製品・服飾品卸売業	208	メンテナンス・警備・検査業	197
	建材・家具・窯業・土石製品卸売業	369	広告関連業	113
	紙類・文具・書籍卸売業	99	情報サービス業	524
	化学品卸売業	301	人材派遣・紹介業	67
	再生資源卸売業	39	専門サービス業	309
	鉄鋼・非鉄・鉱業製品卸売業	332	医療・福祉・保健衛生業	136
	機械・器具卸売業	1,005	教育サービス業	30
その他の卸売業	388	その他サービス業	211	
		その他	51	
合計			12,000	

## 2. DI 算出方法

DI(ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index))は、企業による7段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各選択区分の回答数に乗じて算出している。

選択区分	非常に良い	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	非常に悪い
点数	6	5	4	3	2	1	0
各区分の回答数	$N_6$	$N_5$	$N_4$	$N_3$	$N_2$	$N_1$	$N_0$

$$\text{景気 DI} = \frac{(\text{各区分点数} \times \text{各区分回答数}) \text{の合計}}{\text{有効回答数 } N} \times \frac{1}{6} \times 100 = \frac{\sum_{i=0}^6 i \times N_i}{N} \times \frac{1}{6} \times 100$$

景気 DI は、50 を境にそれより上であれば「良い」、下であれば「悪い」を意味し、**50 が判断の分かれ目**となる(小数点第2位を四捨五入)。また、企業規模の大小に基づくウェイト付けは行っておらず、「1社1票」で算出している。

## 【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

担当：池田 直紀 (080-4900-8758)

TEL 03-5775-3163 e-mail keiki@mail.tdb.co.jp

リリース資料以外の集計・分析については、お問い合わせ下さい(一部有料の場合もございます)。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。